

歯の衛生週間によせて①

桐生市歯科医師会

6月4日から「歯の衛生週間」が始まります。

近では歯並びや歯ぎしり、あごの関節の病

ですが、歯周病と全身疾患との因果関係が解明され、歯周病が糖尿病や心臓の病気の一因となり、さらには症状を悪化させて寿命を縮めることがわかってき

ますが、歯周病もおむし歯も歯周病も口の汚れが原因です。まずは正しい歯磨きと規則正しい食生活を指しましょう。生活習慣病の大きな要因として食生活があります

8020運動を推進しています。この活動は、子供のころから歯を大切にして、いくつになっても自分の歯で

み、生きる喜びです。歯科医師は皆様のお口の管理を通して、すてきな笑顔を送るパートナーとして、お手伝いいたします。

そのほか、群馬県歯科衛生士会や桐生栄養士会のご協力により、手作りの「歯に良いおやつ」の紹介コーナーや歯磨きコーナーなど、盛りだくさんの行事を用意しています。7日の日曜日はぜひ会場にお越しください。

一生自分の歯でおいしく食べよう

歯科医師会が中心となって昭和24年(1949年)から始まったこの行事は、ちょうど60年になります。はじめは、むし歯予防が主な活動でしたが、高度成長期を過ぎたころから歯周病も加わり、最

気、さらには生活習慣病との関係など、広い分野が対象となっています。

最終目標は、お口をきれいに一生自分の歯でおいしく食べること

ました。先年、ニューヨークタイムズ紙に大きく取り上げられた「歯をなおしますか? それとも死にますか?」の記事は大きな反響を呼びました。

が、これを支える歯やお口を健康に保つことは、生涯を通して大切なことになってきました。

日本歯科医師会では80歳で20本の歯を残す

おいしい食べ、すてきな笑顔で過ごしましょうという運動です。高齢者にとっておいしい食事はなによりの楽しみ、生きる喜びです。



桐生市歯科医師会
会長・塩崎泰雄

手伝いいたします。どうぞ、お気軽に歯科医院を受診してください。

桐生市歯科医師会では、6月7日に桐生市保健福祉会館で、歯とお口の健康状態の診査と相談、講演会を開催するとともに、桐生市健康課の